

## クラフト部会 2020年8月活動報告

部会長 本廣 良一

朝からうだるような暑さ、セミの声も「暑い～暑い」と聞こえてきます。早く虫の音に  
ならないかと期待してしまいます。

今月は8月8日（土）と10日（祝）の2日間、人数を分散して「広島市健康科学館」  
にて「手作り木エクラフト」開催。入館に際しマスク、アルコール消毒、体温測定、問  
診表の提出を済ませました。山本理事長、見勢井顧問よりもりメイト倶楽部の活動、森  
の役割などの説明開始です。各テーブルに配った枝を見せ、わかる人は手を挙げて、水  
や酸素はどこから来るのか、森の手入れの大切さ、広島県の木[県木＝もみじ]、花「県  
花＝もみじ」、広島市の木「市木＝クスノキ」、花「市花＝キョウチクトウ」など実物  
を見ながら親や子供たちにもわかりやすい説明となりました。

親子5組で広い部屋に机を分散し、題材は、アニマルカーと干支のネズミです。アニ  
マルカーは胴体と頭の接続、車輪の取り付け、ノコで耳の切り出しなど親子で力を合わせ  
完成しました。干支のネズミは胴体を丸く磨いたり耳の位置決めにはヤスリを掛けたり、  
鼻は黒や白のコショウまたは赤い実、しっぽは「シュロ」など自然のものを利用して作  
ります。周りを綿花やヤシャブシ、どんぐりで飾り付けして完成、個性豊かな作品が  
出来上がりました。

8月22日（土）は「児童デイサービス ゆうゆう」にて木エクラフトの指導を行いま  
した。夏の季節にぴったりの竹を使った“水鉄砲”の制作です、ノコを使って竹を切り、  
穴を開け、タオルなど切れ端を細い竹に巻き付け糸で縛って出来上がりです。早速バケ  
ツに水を汲み試してみると、面白いように水が飛び出し、涼しい、面白いと歓声が上が  
りました、指導は山本、本廣の2名で行いました。

クラフト部会では、8月1日（土）、8日（土）、22日（土）で新作や材料作りの活動  
を実施、現在、大型チェーンソーのボルトが破損故障しています。29日（土）は湯来  
町麦谷で製材機を稼働し柱や角材作りを行いました。

今月の一般参加者35人、倶楽部会員参加者28人です。



森の役割を説明する山本理事長（広島市健康科学館）



出来上がった作品、力作の干支のネズミとアニマルカーです。